

報告事項3. 2023年度事業計画

1. 循環器学の研究及び振興を目的とする事業

(1) 研究会・学術講演会の開催事業

1. 第88回日本循環器学会学術集会(JCS2024)

① 会期：2024年3月8日(金)～10日(日)

会長：平田 健一(神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 循環器内科学分野)

会場：神戸コンベンションセンター

(神戸ポートピアホテル・神戸国際展示場・神戸国際会議場)

テーマ：未来につなげる循環器学－循環器病克服への挑戦－

② プログラム

・一般演題

(口述, ポスター, Featured Research Session)

・美甘レクチャー

・真下記念講演

・特別講演

・Opening session

・会長講演

・代表理事講演

・プレナリーセッション

・シンポジウム

・会長特別企画

・ジョイントシンポジウム

(AHA, ACC, ESC, CSC, KSC, APSC)

・ラウンドテーブルディスカッション

・トピック

・コントロバシー

・ミート・ザ・エキスパート

・モーニングレクチャー

・Late Breaking Clinical Trials

・Late Breaking Cohort Studies

・循環器教育セッション

・日本心臓財団佐藤賞記念講演

・2022年度採択医師臨床研究助成およびメ
ディカルスタッフ研究助成報告

・審査講演会

YIA Clinical research部門審査講演

YIA Basic research部門審査講演

国際留学生YIA審査講演

International YIA Basic Research
Section

International YIA Clinical Research
Section

Asian Pacific Grants for Innovative
Research

コメディカル賞審査講演会

・ガイドラインに学ぶ

・各委員会セッション・セミナー

海外留学ネットワーキングセミナー

国際名誉会員セッション

JIYCオリジナルセッション

アジア各団体代表によるセッション

禁煙推進セミナー

日本循環器学会蘇生科学シンポジウム

基本法・5カ年計画検討委員会セッ
ション

心不全療養指導士

ダイバーシティ推進委員会

・倫理に関する講演会

・医療安全に関する講演会

・Circulation Journal Award Session

・CJ/EHJ Joint Session

・チーム医療セッション

(一般演題, 教育講演, シンポジウム)

・サテライトセミナー(モーニングセミ
ナー, ランチョンセミナー, ファイアサイ
ドセミナー)

・機器・書籍展示

③ プレレジストレーション

学術集会参加者向けに, 参加登録, 教育セ
ッション, ランチョンセミナー・ファイア
サイドセミナーのプレレジストレーション
を行う。

④ 印刷物・製作物

第88回学術集会関連の印刷物・制作物とし
て, プログラム集, 電子抄録アプリ, 教育
セッションテキスト, 企業展示ガイドブッ
ク, ピンバッジ, 英文パンフレットを製作
する。

⑤ My Abstracts

演題抄録・チーム医療セッション抄録・共
催セミナー抄録を検索し, 必要な演題の抄
録だけを収録したオリジナル抄録集や日程
表が作成できるサービスをWEB版とアプ
リ版で行う。

⑥ トラベルグラント

海外からの演題採択者への補助として筆頭
著者にトラベルグラントを支給する。支給
金額は, アジア近隣諸国は5万円, その他の
国は10万円とする。

⑦ 発表データプレエントリー

学術集会発表スライドを会期前にWEBサ
イトで事前アップロードするための「発表
データプレエントリーシステム」を公開す
る。

⑧ 託児室

学術集会会期中に参加者に対して英語対応

可能な託児室を設置する。

- ⑨ 日本循環器学会ブースの出展
第88回学術集会の期間中、展示会場にて学会活動紹介のためのブースを出展する。
- ⑩ 学会賞
以下の賞に関して、受賞者を決定する。
第49回日本心臓財団佐藤賞
第41回YIA Clinical research部門審査講演
第41回YIA Basic research部門審査講演
第32回CPIS賞
第22回国際留学生Young Investigators Award
第3回International YIA Basic Research Section
第3回International YIA Clinical Research Section
第2回Asian Pacific Grants for Innovative Research
Circulation Journal Awards for Volume 87, 2023
Circulation Journal Best Reviewers Award for 2023
第19回心臓血管外科賞
第19回小児循環器賞
第17回女性研究者奨励賞
第14回コメディカル賞
日本心臓財団・日本循環器学会2023年「心臓」賞
第2回 JCS EARLY CAREER CHAMPIONSHIP

2. 第7回基礎研究フォーラム(JCS Council Forum on BCVR / CVMW2023 – Cardiovascular and Metabolic Week 2023)

- ① 会期：2023年12月9日(土)～10日(日)
会長：前村 浩二(長崎大学 循環器内科)
会場：神戸国際会議場
メインテーマ：New Genesis of Cardiovascular Metabolic Medicine
- ② プログラム：作成中

3. 日本循環器学会地方会

- ① 第129回北海道地方会
会期：2023年6月24日(土)
会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)
会長：古橋 真人(札幌医科大学循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座)
- ② 第130回北海道地方会
会期：2023年11月25日(土)
会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会長：若狭 哲(北海道大学心臓血管外科教室)

- ③ 第176回東北地方会
会期：2023年6月3日(土)
会場：いわて県民情報交流センター アイーナ(盛岡市)
会長：森野 禎治(岩手医科大学循環器内科分野)
- ④ 第177回東北地方会
会期：2023年12月2日(土)
会場：コラッセ福島(福島市)
会長：竹石 恭知(福島県立医科大学循環器内科学講座)
- ⑤ 第268回関東甲信越地方会
会期：2023年6月17日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会長：船橋 伸禎(国際医療福祉大学市川病院 循環器内科)
- ⑥ 第269回関東甲信越地方会
会期：2023年9月2日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会長：加藤 律史(埼玉医科大学 国際医療センター 心臓内科・不整脈科)
- ⑦ 第270回関東甲信越地方会
会期：2023年12月16日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会長：笹野 哲郎(東京医科歯科大学大学院循環制御内科学)
- ⑧ 第271回関東甲信越地方会
会期：2024年2月17日(土)
会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)
会長：田邊 健吾(三井記念病院 循環器内科)
- ⑨ 第161回東海地方会
会期：2023年6月3日(土)
会場：ウインクあいち(名古屋市)
会長：瀬尾 由広(名古屋市立大学大学院循環器内科学)
- ⑩ 第146回北陸地方会
会期：2023年6月24日(土)
会場：金沢大学医薬保健研究域医学類(金沢市)
会長：松本 康(金沢医療センター心臓血管外科)
- ⑪ 第162回東海・第147回北陸合同地方会
会期：2023年10月21日(土)・22日(日)
会場：じゅうろくプラザ(岐阜市)
会長：大倉 宏之(岐阜大学 循環器内科)

- 学)
- ⑫ 第135回近畿地方会
会期：2023年7月15日(土)
会場：千里ライフサイエンスセンター(豊中市)
会長：星賀 正明(大阪医科薬科大学)
 - ⑬ 第136回近畿地方会
会期：2023年12月16日(土)
会場：ナレッジキャピタル・コングレコンベンションセンター(大阪市)
会長：成子 隆彦(大阪市立総合医療センター)
 - ⑭ 第123回中国地方会
会期：2023年11月18日(土)
会場：米子コンベンションセンター(山口市)
会長：加藤 雅彦(鳥取大学保健学科検査技術科学専攻・病態検査学講座)
 - ⑮ 第123回四国地方会
会期：2023年12月2日(土)
会場：レグザムホール(高松市)
会長：土井 正行(香川県立中央病院 循環器内科)
 - ⑯ 第122回中国・四国合同地方会
会期：2023年6月3日(土)～4日(日)
会場：松山市総合コミュニティーセンター(松山市)
会長：岡山 英樹(愛媛県立中央病院 循環器病センター)
 - ⑰ 第134回九州地方会
会期：2023年6月24日(土)
会場：くまもと県民交流館パレア(熊本市)
会長：辻田 賢一(熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学)
 - ⑱ 第135回九州地方会
会期：2023年12月2日(土)
会場：アクロス福岡(福岡市)
会長：和田 秀一(福岡大学 心臓血管外科)
小川 正浩(福岡大学 臨床検査医学)

4. 地方会抄録検索システム

地方会症録オンライン検索システム「症例くん」に、過去の地方会データを登録する。

(2)学会学術誌「Circulation Journal」Circulation Reports」の刊行事業

- ① 『Circulation Journal』刊行(2023年度刊行：Vol.87 No.5-Vol.88 No.4)
完全オンライン公開にて刊行事業を行う。
「Focus on issue」として毎号にテーマを

設け、それに沿ったReview Articleや原著論文を掲載。表紙には各号インパクトのある図と数本の論文ショートタイトルを載せ、読者の関心を惹くデザインとする。また本会作成ガイドラインの英語版や学会賞受賞者の紹介、学術集会レポートの掲載など、学会のFlagship Journalとしての役割を果たしていく。

- ② 『Circulation Reports』刊行(2023年度刊行：Vol.5 No.4 - Vol.6 No.3)
完全オンライン公開にて刊行事業を行う。
Circulation Reports独自の論文種別であるBrief Report, Statement/Opinion, Protocol Paperをはじめとした新規投稿論文に加え、Circulation JournalのSister Journalとして、同誌で惜しくも掲載に至らなかったものの質の高い論文をTransfer制度で受け付ける。
- ③ 質の向上のための取り組み

Circulation Journalは、Impact Factorの向上を目指すためSister JournalのCirculation Reportsのみならず、日本循環器連合加盟学会の英文誌と連携していく。また、ガイドライン部会と連携して本会で作成するガイドラインの日本語版と可能な限り同時公開で英語版を掲載する。さらに年間を通して予測と対策がとれるよう、Impact Factor暫定値を定期的に確認していく。Circulation Reportsは、刊行から数年の若いジャーナルのため、投稿数を増やすための広報活動を継続していくとともに、投稿から採択、公開までの査読や編集プロセスの迅速性を特色として打ち出していく。両誌共通事項として、JCS Newsletterで毎月掲載論文リンク付きの目次一覧を会員へ配信し、各号刊行日に表紙や目次の情報を学会公式Twitterで紹介する他、各論文の公開日にはサマリーとCentral FigureをDOIとともにTwitterに掲載し、論文へのアクセス数増加へと繋げる。また、国際ジャーナルとしての立ち位置を確固たるものとするため、アジアや欧米の学会において積極的に両誌の認知度向上や連携強化のための活動を行い、海外からの投稿論文数向上を目指す。さらに、著者にとって投稿のハードルとなっているような点があればできる限り解消できるよう柔軟に審議・対応していく。

- ④ 図表の二次使用に関する許諾
Circulation Journal, Circulation Reports両誌掲載論文の図表に関し、営利目的の二次使用申請を受け付け、許諾料を申し付ける。非営利目的の使用については、CCラ

イセンスに則り、出典元を明示し改変を行わないことを条件に、申請不要かつ無償で許諾する。

(3) 学術研究助成事業

1. ガイドライン事業

- ① ガイドライン誌発刊
 - ・ 2022-2023年度年度活動ガイドライン(2023年度発表)
 - 1) 心臓血管疾患における遺伝学的検査と遺伝カウンセリングに関するガイドライン(班長：今井 靖)
 - 2) 多様性に配慮した循環器診療ガイドライン(班長：塚田(哲翁)弥生)
 - ・ 2023-2024年度年度活動ガイドライン(2024年度発表)
 - 3) 肺高血圧症治療ガイドライン(班長：田村雄一)
 - 4) 心臓移植に関するガイドライン(班長：齋木佳克)
 - 5) 心不全診療ガイドライン(班長：北井 豪)
 - 6) 成人先天性心疾患診療ガイドライン(班長：山岸敬幸)
- ② 英訳版
 - 1) 2020年改訂版 大動脈瘤・大動脈解離診療ガイドライン(班長：荻野 均)
 - 2) 2022年改訂版 不整脈の診断とリスク評価に関するガイドライン(班長：高瀬凡平)
 - 3) 2022年改訂版 非心臓手術における合併心疾患の評価と管理に関するガイドライン(班長：平岡栄治)
 - 4) 2022年改訂版 末梢動脈疾患ガイドライン(班長：東 信良)
 - 5) 2023年改訂版 冠動脈疾患の一次予防に関する診療ガイドライン(班長：藤吉 朗)
 - 6) 2023年改訂版 循環器領域における睡眠呼吸障害の診断・治療に関するガイドライン(班長：葛西隆敏)
 - 7) 2023年ガイドラインフォーカスアップデート版 PCPS/ECMO/循環補助用心内留置型 ポンプカテーテルの適応・操作(班長：西村 隆)
 - 8) 2024年改訂版 心臓血管疾患における遺伝学的検査と遺伝カウンセリングに関するガイドライン(班長：今井 靖)
 - 9) 2024年改訂版 多様性に配慮した循環器診療ガイドライン(班長：塚田(哲翁)弥生)
- ③ ガイドラインフォーカスアップデート発刊
 - 1) 2024年ガイドラインフォーカスアップ

デート版 不整脈治療(班長：岩崎雄樹)

④ 図表の転載申請の許諾

営利目的の制作物への図表転載申請を受け付け、転載許諾料を申し付ける。(※但し医学書については無料とする。)

2. 基礎研究、医師臨床研究助成およびメディカルスタッフ(医師の除く医療専門職)研究助成

2016年12月16日に制定された脳卒中と循環器病克服5ヶ年計画に基づき、5戦略の1つとして策定された人材育成を強化するために今後活躍が期待される若手基礎研究者最大5名に「基礎研究助成」、若手医師研究者最大3名に「医師臨床研究助成」とメディカルスタッフ最大3名に「メディカルスタッフ研究助成」を行う。

3. 留学支援助成

脳卒中と循環器病克服5ヶ年計画の5戦略の1つとして策定された「人材育成」を強化するため、海外留学する若手研究者の経済的支援を通じて、循環器領域の進歩に寄与する研究の奨励と、今後活躍される若手研究者の育成を目的として、1件の留学支援助成を行う。

(4) 登録・解析事業

1. 臨床効果データベース

当会と自治医科大学との共同研究契約に基づき、本事業を推進する。

2. 循環器疾患診療実態調査(JROAD)

- ① データ収集を行う。
- ② DPCデータを用いた心疾患における医療の質に関する事業
JROAD-DPCの運用を行う。研修・研修関連施設のDPC病院を中心にDPCデータの収集を行う。参加施設の増加、調査項目の見直しも検討する。
- ③ 公募事業
JROAD, JROAD-DPCデータを利用する研究公募を行い、データ提供の対価を研究者より受領する。また産学連携研究の公募も行う。

3. BPA施設認定レジストリー登録

BPAの適応と実施に関するステートメントに沿って、認定施設、実施医、指導医の基準策定が関連学会との合意を受け、レジストリー登録を行う。

4. ウツタインレジストリー

消防庁救急蘇生統計(ウツタイン調査)データの検証を行い、蘇生科学と救急心血管治療に対す

る研究を世界に向け、論文・発表を展開して行く。

5. MitraClipレジストリ (J-Mitra)

MitraClip適正指針に沿って施設認定を行い、MitraClip適正使用のためのレジストリ登録を行う。

6. Watchmanレジストリ (J-LAAO)

Watchman適正指針に沿って施設認定を行い、Watchman適正使用のためのレジストリ登録を行う。

7. ビンダケル使用症例レジストリ

トランスサイレチン型心アミロイドーシス症例に対するビンダケル適性投与のための施設要件、医師要件に関するステートメントに沿って、認定施設、実施医の審査を行い、レジストリ登録を行う。

8. 日本循環器研究コンソーシアム

ナショナルベースのゲノムデータバンクを構築し、将来的には会員や多くの研究者が広く多くのデータが利用でき、新しい治療法の開発につながったり、参加するすべての研究者自らの専門性を存分に発揮できるようなオープンな環境を構築していく。

(5) 交流事業

1. 国内交流

- ① 「日本循環器連合」事業として、各学会とリーダーシップミーティングを開催し議論を行う。
- ② ICD-CRT研修制度協議会の運営を行う。
- ③ ステントグラフト実施基準管理委員会へ、実施基準に関する協議会(11学会)の1学会として参加する。
- ④ 循環器系のコメディカル関係学会とのジョイントセッションを双方の学術大会で開催する。
- ⑤ 医療放射線防護連絡協議会に理事を派遣する。

2. 国際交流

- ① 海外学会(AHA, ESC, KSC)へブース出展(あるいはデジタルブース出展)を行う。
- ② 各海外団体(ACC, AHA, CSC, ESC, KSC, APSC)とのジョイントシンポジウムを開催し、協議の機会を設け、関係を深める。
- ③ 国際留学生YIA及びInternational YIA, Asian Pacific Grants for Innovative Researchの公募を行い、第88回学術集会

で審査講演を行う。

- ④ JIYC (JCS International Young Community) が中心となり、海外留学ネットワークセミナーを企画し、留学を希望する若手医師の交流の場を設ける。そのほか、若手オリジナルセッション、ガイドライン症例セッションを企画する。
- ⑤ アジアからの学術集会参加者が増えるよう、各団体への広報を強化する。
- ⑥ アジア諸国から留学する若手医師を対象に助成事業を行う。公募を行い、書類審査・面接にて採択する。

(6) 循環器学用語の検討

- ① 『循環器学用語集(第4版)』の更新
本会ウェブサイトで公開中の用語集(第4版)およびこの英語版について、利用者から寄せられる意見や関連学会からの要望等を加味し随時検討、更新していく。
- ② 国際疾病分類(ICD)改訂に関わる対応
WHOおよび厚生労働省からの依頼を受け、「ICD-11」における循環器用語の和訳・確認作業やICD専門委員会等への委員派遣を行う。

2. 循環器医師の教育及び専門性の向上を目的とする事業

(1) 循環器専門医事業

1. 専門医制度事業

- ① 第34回循環器専門医資格認定試験を実施する。
筆記試験日：2023年10月15日(日)
- ② 循環器専門医資格の更新審査を行う(対象3,001名予定)。
- ③ 循環器専門医研修施設・研修関連施設の認定審査を行う。
- ④ 『循環器専門医』誌休刊にあたり、過去掲載された記事をピックアップしSNSで発信する等企画を検討する。

2. 新専門医制度に伴う事業

- ① 症例登録評価システム(循環器J-OSLER)の運営を行う。
- ② 新専門医制度に対応した施設指定審査および指定施設の公表を行う。
- ③ 第2回循環器内科専門医資格認定試験を実施する。
筆記試験日：2023年10月15日(日)
- ④ 制度移行期の扱い、認定更新に関する制度の構築を行う。
- ⑤ 関連する領域と連動した循環器領域における制度の構築・運営を行う。

(2) 循環器医師及びその他の医療関連従事者の教育・育成事業

1. セミナー

- ① 臨床研究・統計教育プログラム
循環器医師が臨床研究をデザインするためのWeb教育プログラムを実施する。
- ② JCS-ITC (日本循環器学会国際トレーニングセンター) AHA心肺蘇生法コース
各講習会を全国で開催する。
 - ・AHA BLSプロバイダーコース
 - ・AHA ACLSプロバイダーコース
 - ・AHA ACLS EPプロバイダーコース
 - ・AHAハートセイバーCPR AEDコース
 - ・AHAコアインストラクターコース
 - ・AHA BLSインストラクターコース
 - ・AHA ACLSインストラクターコース
 - ・AHAハートセイバーインストラクターコース
 - ・AHA ACLS EP インストラクターコース
- ③ PCASセミナー
心肺停止後の適切な処置を習得するためのPCASセミナーを開催する。
- ④ コメディカルセミナー
メディカルプロフェッショナルを対象とした教育セミナーをオンラインにて開催する。

2. 教材

- ① 教育研修e-ラーニングの整備・運営
会員の知識・技能の向上を目的に、教育研修e-ラーニングのコンテンツを充実させる。
- ② 学術集会DVD、教育セッションDVDの製作・販売
第88回学術集会で開催されたセッションを、より多くの医師が視聴研修することを目的に、セッションを収録したDVDの製作・販売を行う。
- ③ 循環器専門医を志す研修医のための動画配信
医学生の循環器内科領域の理解を深め、また分かりやすく各分野を開示することで壁を取り払うことを目的とした「5分でわかる循環器ベストティーチャーシリーズ」の動画作成と配信を行う。
- ④ 臨床研究・統計教育プログラム
循環器医師が臨床デザインをすることに特化した教育プログラム「臨床研究・統計教育プログラム」について、新たに応用編の公開を行う。
- ⑤ 心不全療養指導士認定試験eラーニング
心不全療養指導士認定試験のカリキュラムとガイドブック第二版の内容に沿ってメデ

ィカルスタッフ向けのeラーニングを配信する。

3. 心不全療養指導士資格制度

第4回心不全療養指導士認定試験を実施する。
筆記試験日：2023年12月17日(日)を予定。

4. ダイバーシティ推進に関する事業

- ① 多様な世代、職種等が交流し、互いの理解、進歩を考える場を設け、発展していくための活動を行う。
- ② Travel Award for Women Cardiologists
本会の女性会員のキャリア支援を目的として、国際学会(ESC, AHA)において女性筆頭者が発表する優秀演題を顕彰する。
- ③ 女性循環器医コンソーシアム(JCS-JJC)部会
女性医師のリーダーシップ開発支援と就労継続支援、海外女性循環器医団体との連携を行う。
- ④ U-40部会
学生・研修医に対する循環器領域への勧誘活動や若手医師のネットワーク構築を実現すべく、支部への活動支援を行う。
- ⑤ 特定看護師養成促進ワーキンググループ
働き方改革・タスクシェア実現に向けて、特定看護師・診療看護師の活躍を推進するための施策検討を行う。

3. 循環器診療の社会への普及啓発及び社会還元を目的とする事業

(1) 心臓移植等にかかる事業

1. 心臓移植に関する事業

- ① 心臓移植に関連する協議会等と諸問題について協議し、必要な要望などを関係各所に提出する。
- ② 心臓移植・心肺同時移植に関する適応検討及び、植込型VAD事後検証を行う。
- ③ 自施設内適応判定により移植された症例の事後検証を行う。
- ④ 心臓移植実施施設間の問題点、今後のあり方について協議を行う。
- ⑤ 医療従事者に対してのドナーアクションを行う。
- ⑥ 心臓移植申請症例データベースの構築に向けて検討を行う。
- ⑦ 心臓移植並びに心肺同時移植に係る審議(実施施設の認定審査を含む)を行う「心臓移植・心肺同時移植関連学会協議会」の事務局運営を行う。

(2) 広報・啓発事業

1. 市民向け

- ① 第88回学術集市民公開講座(会長企画)
- ② 心肺蘇生法市民公開講座
学術集会、地方会で一般市民を対象とした心肺蘇生法の講習会を開催について検討する。
- ③ 健康ハートの日実行委員会主催で日本心臓財団、日本循環器協会、日本AED財団、本会の4団体共催のもと、7月下旬～8月11日(予定)にて健康ハートウィーク2023を開催予定である。イメージカラーは赤であり、今年はサッカーを意識して、「心臓病予防啓発の新たなキックオフ」をテーマにしている。開催形式は、現地開催、収録企画、ライブ配信等を予定している。
- ④ 禁煙啓発キャラクターを使用した禁煙啓発活動
各地の市民向けイベントに禁煙相談ブースを設置し、喫煙者への禁煙啓発を促す。また、本会の禁煙推進キャラクター「すわん君」のtwitterを通じて本会の禁煙啓発活動を広く周知する。また、ライブ配信において、視聴者へ多くの循環器にかかわる病気の原因や予防策を提示し、多くの視聴者が気軽に予防啓発を学ぶ機会の場を作っていく活動を行う。
- ⑤ 禁煙教材の作成
禁煙パスポート、DVD、ポスターの制作、販売を行う。
- ⑥ Twitterの活用
広くSNSを通じて情報を拡散するために、Twitterを活用した広報を行う。
CJ、CRの論文紹介や学術集会の発表スライド、インタビュー投稿などを即時行うことで常に新鮮な情報を一般、医療従事者、会員問わず国内外に発信する。
- ⑦ 心筋梗塞予防のための市民啓発活動「STOP MI キャンペーン」を推進する。

2. 胸痛レジストリ

胸痛の症状を網羅的に取得するレジストリの実現性の確認を行う多施設研究を行う。

3. 会員向け

- ① 学会Webサイトの運営
学会公式Webサイトにおいて、継続して学会からの情報発信を行う。また、リニューアル後の精査を実施し英語版サイトの充実を図る。
- ② ニュースメールの配信
会員への情報サービスとして学会からの各種お知らせを「JCS Newsletter」として配

信する。

- ③ 会員ポータルサイトの運営
会員が登録情報の参照や更新、年会費等の支払いを行う事ができるポータルサイトを運営する。

4. 保険診療等に関する事業

- ① 日本医師会から供給停止予定品目リストの確認依頼があるため、理事・保険診療委員で確認する。
- ② 令和6年度診療報酬改定における申請提案を内保連事務局へ提出し、内保連ヒアリング、厚労省ヒアリングへ参加する。
- ③ 出荷調整・停止、供給停止等のお知らせや意見伺いについて、臨床上問題がないか等を検討する。
- ④ 外部機関等からの依頼として、委員会内で検討し、必要に応じて要望書の提出等を行う。

(3) 社会還元事業

1. 医療事故調査制度

2015年10月から開始された「医療事故調査制度」について、本会は病院での院内調査および医療事故調査・支援センターのセンター調査への専門家の派遣を行うこととなっており、依頼があった場合は専門家を派遣する。

2. 鑑定人推薦依頼

最高裁判所からの鑑定人推薦依頼に専門家を派遣する。

3. 終末期症例登録について

救急医学会、集中治療医学会、循環器学会3学会合同で、終末期症例登録システムを構築する。

4. 循環器領域に係る他団体業務の受託

日本循環器協会・禁煙推進学術ネットワーク・Asian Pacific Society of Cardiology (APSC) の3団体の事務局業務を受託しており、各団体の連携団体・中核団体として活動を推進する。

5. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 循環器病克服5カ年計画事業

脳卒中と循環器病克服第二次5カ年計画で掲げている5年間で脳卒中・心血管病による死亡率の5%減少および健康寿命の延伸目標を達成するために、脳卒中・心不全・血管病を重要3疾病と定め、「人材育成」「医療体制の充実」「登録事業の促進」「予防・国民への啓発」「臨床・

基礎研究の強化」の5戦略を通じて、我が国と
本会の5年間の事業について実行する。

2. 大規模・中規模災害に対する対応

災害発生に伴い本会が行う対応を整理し関係団体との連携を踏まえたフロー等を検討する。

3. 会員システム等の改修及び構築

諸手続きの利便性向上を目的とした会員ポータルサイトの改善や機能追加、及び安定稼働とセキュリティ向上を目的とした対応を適宜行う。
また、演題登録システムの構築を継続する。

4. 医師賠償責任保険

本会の医師賠償責任保険を運用する。会員は割引価格で保険に加入でき、本会には医師賠償責任保険料の5%、総合補償保険料の3%が収益となる。

5. FJCS制度

会員の学会活動への活発な参画により本会を活性化させるため、フェロー会員の認定を行う。
また、国際FJCSの海外団体からの推薦による受付も継続する。

6. 会員への周知

会員に向けて周知すべき事項を案内するため、会告2023 No.2～No.4・2024 No.1を発刊する。
冊子での配布は有償とし、メール及びホームページにて会員に公開する。